

## 体験的参加型学習による 人権・同和教育学習プログラム

### プログラム1

### 「同和問題 うそ・ほんと?!」

どんな場所で：中学校・高校の授業、PTA 研修、公民館講座等

誰を対象に：高校生から一般

時間のめやす：60分

ね ら い：小学校・中学校の歴史の教科書の中で、史実が明らかになるとともに、同和問題に関わる身分制度等の記述は大きく変化している。ともすれば古い知識のまま、あるいは噂話や誤った知識のまま同和問題に対するイメージや思い込みをもっているケースは少なくない。ここでは○×形式の問題を提起することで、自分の中にある同和問題の知識やイメージを引きだし、見直していきたい。

### 進め方

- 1 グループ作りとアイスブレイキング (10分)  
参加者の数に応じて4～6人のグループを作り、ゲームなどで気軽な雰囲気を作る。  
\*アイスブレイキングとは氷のように硬くなった参加者の気持ちをほぐす活動。  
場合によっては省いてもよい。参加者が気軽に考えを出し合える雰囲気作りが大切です。
- 2 ワークシートを配布し活動について説明する。 (15分)
  - ①「同和問題 うそ・ほんと」のワークシートを配布し、問題に答える。  
\*正解を出すことより、自分の中の知識やイメージを思い出してもらうことが目的であることを話しておく。質問があれば手をあげてもらう。
  - ②グループごとに答えを紹介しあい、話し合っ、グループとしての答えを決め、発表してもらう。
- 3 各問いに対する答えと解説をする。(資料を参照) (30分)  
\*1つの問いに5分程度の解説(5分×6問=30分)
- 4 振り返り(気づき・発見、感想など)をする。 (5分)

## 〈解説のための参考資料〉

「H22 県民意識調査」とは、長崎県が平成 22 年度に実施した「人権に関する県民意識調査」である。この調査は 20 歳以上の県民 3,000 人に対して行ったもので約 1,500 人から回答があった。前回調査は平成 17 年度、前々回は平成 13 年度に実施している。

## 問い①・・・×

「同和問題を知っている」と回答した割合は 78.4%、「知らない」は 17.6% であり、九州各県とほぼおなじである。H13 年度の調査では「知っている」が 62.3%であったので大きく増えたといえる。

## 問い②・・・×

「被差別部落への差別意識がある」と回答した人は「どちらかといえばある」を含めると 50.2%、前回調査の 48.3% を上回っている。

「被差別部落への差別意識をなくすのはむずかしい」と回答した人は 47.2%、前回調査の 41.7% を上回っている。また、「差別意識をなくすことができる」と回答した人は 30.4% で、前回の 33.5% から減少している。

## 問い③・・・○

「参加したことがない」という回答は 73.6%。同様の調査で大分県は 44.4% である。他県に比べて本県の「参加したことがない」県民の割合は非常に高い。

問い①～③を通して見えてくるものは、「同和問題を知っている」人の中には研修等を受け詳しい人から、噂話程度の曖昧な知識や誤った知識を持った人がいる。7 割の人が研修会等に参加したことがないことを考え合わせると、問い②のような厳しい結果になるのは当然なのかもしれない。

「いまさら同和なんて、長崎では誰も知らないんだから、あえて研修会などしないほうがいい」という意見があるが、「多くの県民が同和問題を知っているのだから、正しい知識を持って不合理な差別をなくしていかなければならない」と考えることが、意識調査から導き出せる解答である。

## 問い④・・・○

平成24年度に使われる小・中学校の歴史教科書には「士農工商」の表記はない。「士農工商」→「士と農工商」→「武士と百姓と町人」という教科書の変化は「さらに低い身分」とされた人々が「別の身分」となったように「貧しく悲惨な生活」をイメージさせるものではなくなっている。「士農工商」は身分を示していないことが明らかになっている。

## 問い⑤・・・○

身分制度を示す三角形のピラミッドの図とは右に示すものである。この図は身分制度の中で「えた・ひにん」が登場した1974年以降の教科書には記述されたことはない。それ以前の教科書にも掲載されていないと考えられる。理由は、ピラミッドの図は身分制度を示すものとして不適当だからである。



本来ピラミッドの図は上の階層ほど人数が少ない構造を示すものである。例えば、生物界における食物連鎖であれば、下から順に（植物）（草食動物）（肉食動物）となり、この順に個体数（量）が少なくなっていなければ自然界のバランスが取れないことを示している。スポーツの世界でトッププロの下に技術レベルによって多くのサブ、育成の選手層があることを示すこともある。

江戸時代の身分による人口比率は百姓（図の中では農）が約85%を占めている。つまり、「士農工商」の4つの身分があったと考えられているときであっても、ピラミッドの図として示すことは誤りである。

## 問い⑥・・・○

この問いは平成24年1月に行われたセンター試験に出題されたものである。百姓身分とは農業・漁業・林業に従事するものや、農村地域で農機具等を作る職人も百姓身分であった。「士農工商」という呼び方は「農」が「農業」だけを示しているという誤解を与えてきた。

詳細は巻頭の「教科書から士農工商が消えた」を参照。

ワークシート

同和問題うそ・ほんと!?(長崎版)

次の①～⑤の文章は、ほんとうでしょうか、うそでしょうか?  
下の表に○、×を書き入れてください。

- ① 長崎県民の約8割は、「同和問題を知らない」と答えている。  
(H22県民意識調査)
  
- ② 「被差別部落への差別意識がある」と答えている人、「差別意識をなくすのはむずかしい」と答えている人、ともに前回調査に比べ減少する傾向にある。  
(H22県民意識調査)
  
- ③ 人権にかかわる講演会や研修会に、一度も参加したことがない県民が7割を超えている。(H22県民意識調査)
  
- ④ 江戸時代の身分制度を表す「士農工商」という言葉は、小・中学校の社会科の教科書には出てこない。
  
- ⑤ 江戸時代の身分制度を示す三角形のピラミッドの図は教科書に記載されたことはない。
  
- ⑥ 百姓身分の中には、農業のほか、林業・漁業に従事する者もいた。

①	②	③	④	⑤	⑥

## プログラム2

## 「気になる会話」

どんな場所で：中学校・高校の授業、PTA 研修、公民館講座等

誰を対象に：中学生から一般

時間のめやす：60分～110分（事例の数で調整可能）

ね ら い：ふだん聞こえてくる会話の中に人権にかかわって気にかかる内容はないだろうか。ここでは女性に対する「決めつけ」や「思い込み」に気づかずに交わされている会話をもとにして、ジェンダー・バイアス（男女の役割について固定的な観念を持つこと）について話し合い、自らの固定概念に気づいていきたい。

### 進め方

- 1 グループ作りとアイスブレイキング (10分)  
参加者の数に応じて4～6人のグループを作り、ゲームなどで気軽な雰囲気を作る。
- 2 ワークシートを配布し活動について説明する。 (1場面につき20分)
  - ①各場面の会話を黙読する。
  - ②グループごとに場面を割り振り、簡単なロールプレイをしてもらう。
  - ③もう一度、各場面の会話を読み、気になった所に線を引く。
  - ④グループ内で気になったところを出し合い、理由を話し合う。
  - ⑤グループで出されたことを全体に紹介する。
- 3 自分の経験や身近な出来事として同じように感じた事はないか、話し合う。  
\*各場面に関わらず、固定概念で決めつけていたことはないか日常生活を振り返ってみる。 (10分)
- 4 振り返り（気づき・発見、感想など）をする。 (10分)  
\*気づきや発見は「応用する力」になるといわれます。参加者の気づき・発見を大切に受け取り、全体に還元しましょう。

## 〈参考〉

この活動は答えが準備されたものではなく、参加者から出される気づき、経験を大切にしながら、自分の中にある固定概念に揺さぶりをかけていくことがねらいです。

ファシリテーターは、参加者の意見を尊重しながら進めていくことを大切にしながらも、女性に対する固定概念に縛られていると感じられる意見や経験については、気づきなおしてもらい機会を作りたいものです。他の参加者に意見を求めたり、ファシリテーター自身の経験を話すことで、180度の意識の変化はなくとも、固定概念を見直すきっかけにはなると考えます。

次に示すのは各場面での予想される問題点です。進行の資料として参考にしてください。  
(資料提供:DV防止ながさき 中田慶子さん)

.....  
場面 1

- ①レポーターは女性が結婚すると仕事をやめる（休む）という前提で質問している。
- ②不妊治療をしている人がいる中で、出産についての質問は場合によってはすべきではない質問である。
- ③入籍という言葉は戦前に使われていたもので、現在の結婚ではどちらかの籍に入るといふ手続きはない。一度結婚して自分の籍を作った人が離婚し、再婚したときに使う用語としては現在も残っている。
- ④インタビューされているBさんは女性だ、とっていないだろうか。Bさんが男性でもこのインタビューは成立する。

.....  
場面 2

- ①女性が仕事をやめる原因を結婚・出産としているが、産休や育児休暇などの制度が整っているのかが問題にされていない。
- ②成績が優秀で、気配りができる女性社員と男性社員の何を比較しているのか。
- ③家庭を背負っていくのは男子、というプレッシャーはDVの原因ともなっている。

.....  
場面 3

- ①被害者にも原因がある、という考え方は痴漢・セクハラに限らず犯罪被害者に対する偏見として根強くあり、被害者の立ち直りを阻害する要因でもある。DV防止ながさきの中田さんによれば、痴漢は場所や時間をじっくりと考え下見して行われており、被害者と被害者の服装には必ずしも相関関係は見られないと指摘された。(場面4に共通)
- ②男子は被害者にならないという思い込みがある。さらには、加害者になるかもしれないという心配は全くされていない。
- ③家庭で指導すべきことを学校に任せようとしている。

.....  
場面 4 (場面3の①も参照)

- ①個人の問題を男性・女性とひとくくりしている。
- ②相談室に対する評価。うわさが広まるだけ、というのが事実なら早急な対策が必要。
- ③被害者に対して、忘れて気にしない、という態度は加害者を正当化するだけである。
- ④了解なくタクシーの中で抱きつくのは犯罪行為であることを忘れてはならない。

## ワークシート

**場面1** 芸能人のAさんとBさんが結婚して、その報告記者会見があっています。  
レポーターのRさんがBさんにインタビューしているところです。

R：このたびは、おめでとうございます！Bさんは今後お仕事を続けられますか？

B：子どもが生まれたら、しばらくお休みするかもしれませんが、できるだけ続けたいと思っています。

R：お子さんは何人ぐらいほしいですか？

B：Aは子どもが苦手なんですけど、私は好きなので3人はほしいですね。

R：Bさんの得意な料理を教えてください。

B：実は、私は、お料理が超～苦手なんです。でも、Aがそれでもいいって言うてくれたので（笑）

R：入籍はいつですか？

B：実はもう3ヶ月前に入籍を済ませたんです。

## 場面2 校長先生と社長の会話

社長：最近女子の方が優秀だね。うちの会社でも採用試験の成績だけなら女性の方が優秀らしいよ。最終面接に残ったのが女性だけだったって、担当者が困ってたよ。

校長：そうなんですよ。うちでもクラスの上位5人が全部女子で、男子がいじけてしまって、来年から男子だけのクラスを作ろうかと職員で言っているくらいですよ。

社長：やっぱりそうなんだね、男子は家庭を背負っていくから、やっぱり自信をつけていかないとね。

校長：女子がいくら優秀でも、結局、結婚・出産で仕事をやめてしまうので、もったいないですよ。

社長：そうだよな。気配りとかは女性がいいんだけど、やはり長く働いてもらわないと困るからねえ。

### 場面3 保護者会での下駄箱会議

- A：この辺、最近、痴漢が多いんだって。
- B：ええ、そうなの？ うち女の子ばかりだから、気をつけなくっちゃ！
- C：最近はキャミソールとか、ショートパンツとか露出気味の服装がはやっているもんね。
- D：うちじゃ、夜には出かけるなっていつも言っているけど、いうこと聞かないのよ。
- E：学校で、女子は夜は出かけるなって厳しく言ってほしいわ。
- F：そうよね。あら、でも塾もあるから困るわ。
- G：まあ、女の子って心配ね。うち男の子だからいいけど。

### 場面4 会社の休息時間に

- X：A子さん、同じ課の上司にセクハラに会ったんだって。歓迎会の帰りに、タクシーで抱きつかれて泣いちゃったって。
- Y：えーっ、かわいそう。ほんとに男ってしょうがないよね。
- X：彼女、若いし、ちょっとかわいいし、服装も派手だし、男にとっては魅力的なのかもよ。
- Y：男ってガマンできないんだから、女が隙を見せたらだめなのよ。
- X：A子って、いつも、もごもごしていて、はっきりしないじゃない。イヤってキッパリ言えばいいのよね。
- Z：会社に相談室があるから、そこに行ったらいいのに。
- Y：だめよ、うわさが広まるだけで、効果ないわよ。
- Z：でも、じゃあA子は、どうしたらいいのよ。
- Y：忘れたほうがいいわよ、気にしないことよ。



### プログラム3

### 「差別を取り巻く七つの立場」

どんな場所で：中学校・高校の授業、PTA 研修、公民館講座等

誰を対象に：中学生から一般

時間のめやす：50分

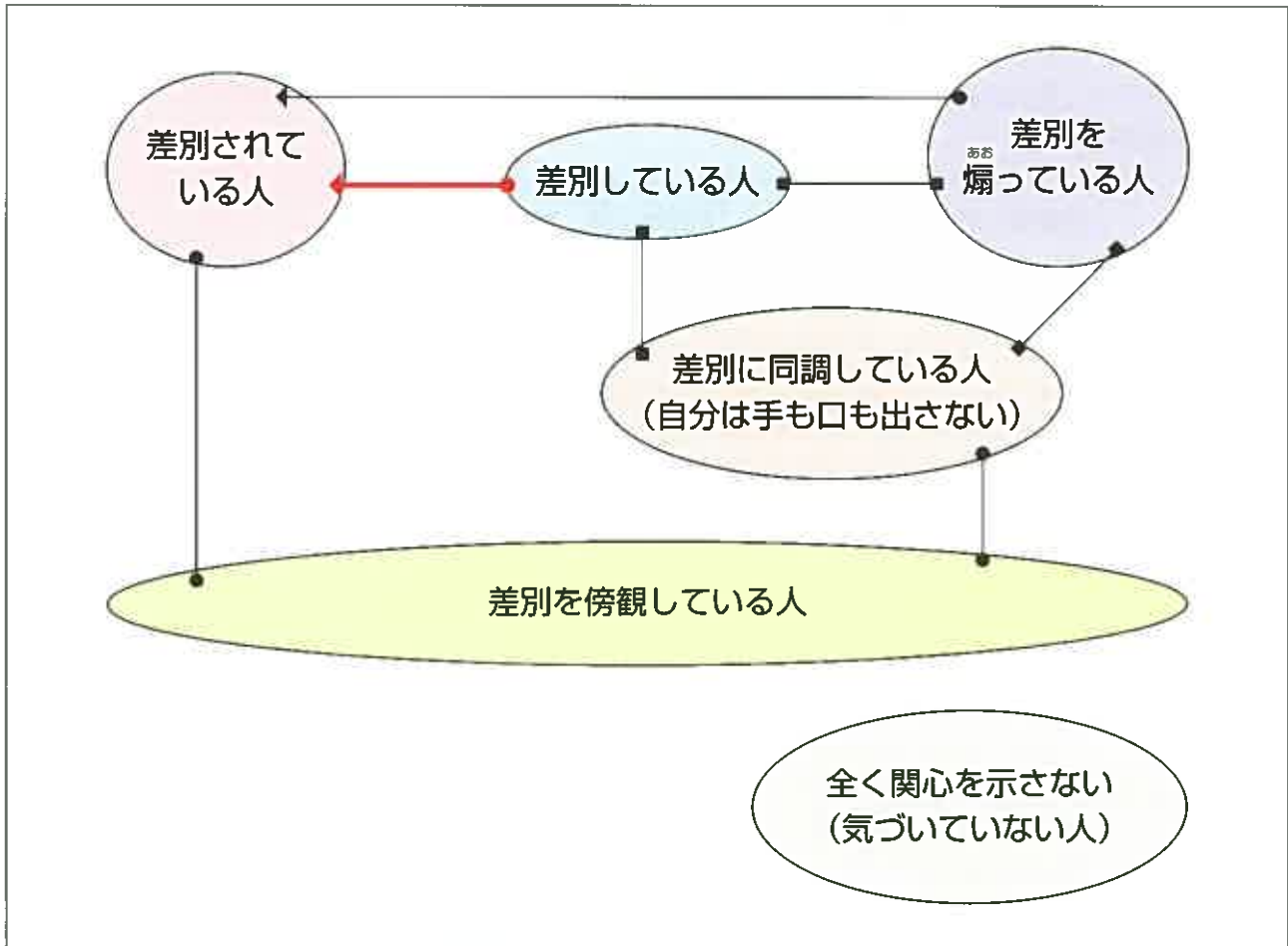
ね ら い：人権の課題を考えると、人権侵害を受けている当事者、人権侵害をしている人、傍観者など、そこに関わるさまざまな人の立場がある。このプログラムでは人権を守る立場に視点を当てながら、自分自身のこれまでの関わり方や人権を守るために自分にできることを考えていく機会にしたい。

#### 進め方

- 1 グループ作りとアイスブレイキング (10分)  
参加者の数に応じて4～6人のグループを作り、ゲームなどで気軽な雰囲気を作る。
- 2 ワークシートを配布し活動について説明する。(30分)
  - ① 図中には6つの立場が記されており、矢印は攻撃している、あるいは対立していることを示しており、それ以外の線は支持している、同調していることを表している。傍観している人の中には差別に同調している人もいれば、差別されている人の側に立って「こんなことはおかしい、あってはいけない」と思っている人もいるはずである。
  - ② ワークシートの「考えて見ましょう」を説明し、考えさせる。(個人作業)
  - ③ グループでそれぞれの考えを発表し、話し合う。
  - ④ グループで出されたことを全体に紹介してもらう。  
ファシリテーターはワークシートの図をホワイトボード等に大きく図示しておき、各グループの意見を図の中に書き入れる。
  - ⑤ 各グループから出された意見を元に7つ目の立場について全体で考える。  
\* ポイントは「差別をなくそう、人権を守ろう」と努力する人が登場することである。大切に考えたいのはこの立場にも、差別されている人のすぐそばにいてこの人を守ろうとする人、差別している人に対してやめなさいと指摘する人、差別をなくそうとする仲間をふやす人など、人権を守るために様々なアプローチがあることに気がつき、そんな仲間のつながりを作ることに着目していくことである。
- 3 振り返り（気づき・発見、感想など）をする。(10分)

ワークシート

差別にかかわる7つの立場



7つの立場

- ①差別されている人。
- ②差別している人。
- ③差別を煽る人。差別している人を支持して、差別を拡大、助長する人。
- ④差別に同調する人。差別する人と同じ考えを持つが行動には出ない人。
- ⑤差別を傍観している人。差別があることは知っているが、ただ眺めている人。
- ⑥差別に無関心な人。差別に気づかず自分には全く関係が無いと思っている人。

考えて見ましょう

- \* 残る1つの立場は何でしょうか。
- \* その立場を図示してみましょう。

## 新規購入ビデオ情報

平成23年度に購入し、人権教育啓発センターのビデオライブラリーに登録したビデオに関する情報です。貸出及び平成22年度以前の登録ビデオの情報については、下記連絡先までお問い合わせください。

長崎県人権教育啓発センター（長崎県人権・同和対策課）

住 所 〒850-0057 長崎市大黒町3-1 交通産業ビル4階

電 話 095-826-5115

FAX 095-826-4874

Web ページ <http://www.pref.nagasaki.jp/jinken/>

番号	ビデオタイトル	対象	分	内 容	備 考
220	パパ、ママをぶたないで！	小 ・ 中 ・ 高 ・ 成	20	<p>父親から母親への暴力に見かねた子どもの実話に基づき、アニメーションの技術を駆使して二児の母でもあるノルウェーの女性監督が6年かけて完成！</p> <p>家庭がいつも父親の機嫌でピリピリしていて、その原因が自分であると思ひ込み、じつと辛抱する子どもが、それを王様に話したことから、事態に変化がおきる・・・。</p> <p>ひとりで辛抱せず、誰かに話してもいい、責任は子どもにはないのだよ、と卓抜したアニメーション技術を駆使して、語りかけるように作られた本作は、まず話すことが解決への第一歩であり、暴力を振るう当事者が変わる努力をすることが大切だ、というDV問題解決の本質を描き、高く評価されている。</p>	アニメ
221	クリームパン	中 ・ 高 ・ 成	36	<p>子どもや若者たちの間で、あまりにも軽く使われる「死にたい」「殺すぞ」といった言葉。</p> <p>ドラマでは虐待やいじめなど、人を傷つけいのちを奪うのも「人」ならば、傷つき死に瀕している人の命を救うのも「人」であるという視点から、子どもへの虐待や自殺など社会問題になっている事件を通して、社会や地域の中で孤立している人々に対する正しい理解を訴えている。</p>	

番号	ビデオタイトル	対象	分	内 容	備考
222	あの空の向こうに	中・高・成	38	<p>インターネットやケータイによる人権侵害は、いつ、誰の身に起こっても不思議ではない問題となっている。</p> <p>このドラマは、インターネットやケータイを敵視するのではなく、これらを凶器に変えてしまうのは「人」であり、また、傷ついた心を癒すのも「人」であることを問題提起し、本当の意味での心のつながりはどういうことであるかを問い直して、心の寄り添うようなコミュニケーションを図ることの大切さや家庭の果たす役割に気づかせている。</p>	
223	親愛なる、あなたへ	中・高・成	37	<p>都市化や核家族化が進行し、隣同士が無関心、無理解でいることが原因で起こる様々な人権問題がある。地域の主人公はそこに暮らすすべての人々であるはずなのに、そのことを忘れ、他人任せになりがちである。</p> <p>ドラマでは無関心、無理解という冷たい壁を破って、温かい見守りと相互支援を進めることの大切さを考える。</p>	
224	こころに咲く花	中・高・成	35	<p>学校や地域でのいじめ、職場でのパワハラやセクハラが社会問題になっている。ドラマではいじめ構造の中で多数派を占める傍観者が一歩踏み出して、勇気を持って声を発すれば解決につながることを訴えている。</p> <p>自らの内面に潜む「いじめの心」を克服し、互いを認め合い、支えあって「誰もが幸せに生きる」社会づくりを考えたい。</p>	
225	バースディ レストラン	中・高・成	30	<p>中学3年生の主人公が、父親の死によって初めて自分の両親の離婚の原因が部落差別にあったことを知り、部落差別と正面から向き合い乗り越えていこうと決心するまでを描いている。</p>	

# 県内の人権・同和教育指導者の皆さん

番号	市町	お名前
1	長崎市	石村 榮一
2		林田 一彦
3		鐘ヶ江修身
4		松添 憲
5		本田勝一郎
6		森田 幸一
7		椋本 博志
8		原 洋
9		川副 忠子
10		傳 均
11		伊藤 闊
12		松尾 洋
13		松下 裕之
14		三藤 理絵
15		内海 珠美
16		築地 文香
17	佐世保市	満屋 敏夫
18		山邊 葉子
19		相川 孝子
20		近藤 真
21		古川 清司
22		竹下 浩司
23		松永 雅範
24		小佐々慎二
25		白川 一成
26		藪 英彦
27		中原 久夫
28	諫早市	小川 供孝
29		松下 太郎
30		矢川 豊彦
31		濱口 美穂
32		小谷 富敏
33		吉野 美穂

番号	市町	お名前
34	諫早市	岩川 克行
35		佐々木孝浩
36	大村市	大塚 真一
37		高田 豊司
38	対馬市	吉田千鶴代
39		佐伯満智子
40		築城 守昌
41		有川 義明
42		阿比留義教
43	壱岐市	勝見 廣治
44		松村 義弥
45		本多 直純
46	壱岐市	土谷 敬治
47		山口 拓也
48	五島市	米倉 徹
49		平山 忠明
50		藤 和枝
51	平戸市	中坂 孝
52		今川 亮生
53		神保 裕行

番号	市町	お名前
54	雲仙市	伊藤 伸広
55		塩津 茂雄
56		丸本 征義
57	南島原市	天本 悟
58		草野 正士
59		中村 照男
60		森野 直
61	松浦市	上手野和広
62		田中 良彦
63	新上五島町	道津喜八郎
64	長与町	矢川 輝人
65	西海市	田崎 秀和
66		松本 英俊
67		上野 公嗣

平成22年度に、人権・同和教育指導者として登録をいただいた方々です。

連絡先等、詳しいことは人権・同和対策課まで、お問い合わせください。

長崎県県民生活部人権・同和対策課  
〒850-0057 長崎市大黒町3-1 交通産業ビル4階  
TEL 095-826-2585 FAX 095-826-4874



## じんけん ながさき

(社会啓発資料21 人権・同和教育と啓発をすすめるために)

---

平成24年3月発行

発行 長崎県県民生活部人権・同和对策課

〒850-0057 長崎市大黒町3-1 交通産業ビル4階

TEL 095-824-1111

直通 095-826-2585